

平成30年度 豊橋市立吉田方小学校 グランドデザイン

学校教育目標 「笑顔あふれ、たくましく生きる子どもの育成」

- ◇ 自ら学ぶ子(知)
自分のなすべき目標をもって、主体的に学習や活動に取り組む前向きな子
- ◇ 思いやりのある子(徳)
他者を理解し、協同する心の広い子
- ◇ たくましい子(体)
困難を乗り越え、努力を続けるたくましい子

経営方針 ☆教育活動全般を通して児童一人一人の自立する心を育て、個性の伸長を図る。

活用できる確かな学力を育成する
学習指導の工夫と授業を支える土台づくり

- ・わかる嬉しさ(基礎の習得)できる喜び(思考、判断、表現)関わり合う楽しさ(学びに向かう力、人間性)を増やす授業を信ぜず
- ・話し合い活動を押し進め、協同して学習に取り組ませる

運動好きで、健康に注意する習慣づけ
運動・健康への関心意欲を高める教科・領域指導や行事活動等の充実を図る

- ・命を大切にする教育活動
- ・自分の目標(体力・健康づくり)に向かって継続的に取り組む保健体育授業
- ・成果を確認できる体育的行事の企画



吉田方小学校 教育スローガン

笑顔いっぱい かいっぱい

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を旨とする

友達を大切にする豊かな心を育む
豊かな心を育てるための恒常的な特別活動の整備に努める。

- ・歌声を核に心に響く感動体験
- ・本が好きな環境づくり
(読書の奨励、図書室・学級文庫の充実、読書時間の確保)
- ・道徳、なかよし学年(ペア)の活動の充実

専門性・組織力を備えた職員集団の形成

専門的で組織的な教員集団の形成を旨として会議等の再編や研修を工夫する

- ・運営委員会、主任会、学年会等の効率的、効果的な運営による学校組織の強化
- ・今日的課題に基づく現職研修
- ・チャレンジシートの効果的な活用

安心・安全への意識の高揚

安心・安全への意識を高め学年・学校全体での組織的な取り組みを推進する。

- ・係や当番、委員会等の役割を通して、自分の役割を果たす児童の育成
- ・奉仕・勤労等の体験活動を通して、道徳的実践力を高める
- ・いじめ、不登校を未然に防止するために、児童支援部による組織的な早期発見・対応

吉田方小学校のESD

《持続発展教育》

地域の自然・文化・歴史を知り、親しみ、これらを伝承し守る

《知る》

- ・校区探検、見学・・・対象：人、物、事
(1. 2. 3. 4. 5年)
- ・環境学習・・・豊川を主体にして(4年)
- ・吉田方の歴史学習・・・豊川と関連して(6年)
- ・防災学習・・・津波に関することなど(全校)

吉田方の歴史学習

《親しむ》

- ・親子ふれあい活動・・・シジミとり等(2年)
- ・豊川マラソン(全校)
- ・昔遊びの伝承(1年)
- ・祭りへの参加・・・神楽・太鼓(希望者)
- ・福祉施設訪問(5年)

親子ふれあい活動

《守る》

- ・豊川クリーン(2年・4年)
- ・津波講座(全校)
- ・津波避難訓練(保小合同)
- ・交通パレード(小中合同・地域連携)
- ・校区防災訓練への参加(地域連携)



豊川クリーン